広報誌さざなみ59号





社会福祉法人親和会 さざなみ学園

Tel (0853) 43-2252 Fax (0853) 43-2256

e-mail:sazanami@rhythm.ocn.ne.jp











































暖かな春の日差しの中、さざなみ学園から可愛い2人の新1年生が入学しました。

入学式では、先生に手を引かれ、少し恥ずかしそうに花道を歩く2人。自分の名前を呼ばれた際には「は い!」と元気よく返事をしていた2人。そんな2人の小さな胸は、小学生になる期待や喜びでいっぱいに膨 らんでいることと思います。これからの学校生活で、多くの友だちと豊かに関わり、元気いっぱいに成長し ていってほしいと願っています。

★ピカピカの1年生~★

【支援課スタッフ 春日南】















寒い季節を終え、すべての生きものが元気に飛び跳ねるような、 心地よい季節になりました。

保護者の皆様並びに関係者の皆様には、日頃より格別のご支援・ ご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。

この度、法人内の異動に伴い、4月1日付で福祉型障がい児入所 施設さざなみ学園の園長に就任いたしました。何とぞよろしくお願 いいたします。3月までは、障がい者支援施設わかばの施設長をし ておりました。

さざなみ学園は、昭和27年に島根県内で初めての県立の知的障 がい児施設として入所定員30名で創設され、ピーク時の昭和45 年には120名の子どもたちが生活していました。平成18年の4 月(入所定員70名)より社会福祉法人親和会に移管し、今年度で 12年を迎えました。この間、入所施設を利用する児童は減少傾向 にあり、現在の定員は、創設当時と同じ、30名となっております。



障害福祉分野の法律や制度等が激変する時代を迎え、子どもたち、保護者、地域社会が求めている二 ーズに即応できるよう、同年には、島根県東部発達障がい者支援センター「ウイッシュ」事業、相談支 援事業、日中一時事業、短期入所事業、障がい児等療育支援事業所「ぱれっと」事業を次々と開始、平 成24年には障がい児通所支援 児童発達支援センター「ぽこぽこ」事業を開始し、そして平成25年 には放課後デーサービス、保育所等訪問支援事業を開始、地域とつながりを持ち、必要とされ、愛され る施設を目指し、事業展開を行って参りました。

話は少し変わりますが、よく似た英語にCHANGEチェンジ(変化)とCHANCEチャンス(機会)と いう言葉があります。「変化は最大のチャンス」と言われ、現在のように変化の多い時代には、たくさん のチャンスがあります。実際チャンスを手にした人は、ほんのわずかしかいないそうです。G(C+T)を よく見てください。その差は? G についているTにあります。GからTを取り除くとC になります。 このTは、トラブル(問題・苦労・不安・不満等)と言われています。ほとんどの人は、GからTの部 分を取り除けない為、チャンスを手に入れることができないのです。

変化の多い時代、これからも移管の時のようなチャンスを生かすチャレンジ精神を持ち続け、子ども たちが安全で安心して生活ができ、いつも元気で飛び跳ねているような施設を目指したいと思っており ます。

今後も引き続きご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



児童発達支援センター



新年度がスタートし、現在13名のお子さんが元気にぽこぽこへ通ってきています。ぽこぽこでは製作やパズル等の手先を使った遊びや運動遊びなど、日々色々な活動をしています。今の季節はお散歩へ出かけたり中庭で遊んだりと戸外遊びを満喫!!中庭ではボール遊びやシャボン玉、追いかけっこに鉄棒…と沢山身体を使って遊んでいます。季節に合った行事をたくさん取り入れながら、子どもたちが持っている力を十分に発揮できるよう、さまざまな活動を行っていきたいと思います。

「ぽこぽこ、楽しいな」「行きたいな!」と子どもたちが思ってくれるよう、子どもたち一人ひとりの気持ちに寄り添いながら日々支援していきたいと思います。今年度もよろくお願いします。

【副主任療育スタッフ 山根 由紀子】



ぱれっとでは、通園療育事業『ふれあい教室』、訪問療育相談、外来療育事業、保育園や通所支援事業所等に おける施設指導事業、プール開放事業、日中一時支援事業等を行っています。

『ふれあい教室』は4月18日に開級式を終え4月からは、13人のお友だちと新しいスタートを切ることができました。『認知』では絵を描いたり、季節の行事物を素材の違う紙や牛乳パックなどを使って作ります。

『運動』の前には『リトミック』で一人ひとりの様子を確認してからサーキットで遊びます。6月から9月までは室内プールがあります。水の中でのびのびする事は子ども達にとって「楽しい」をいつも以上に感じる時間です。また『音楽あそび』のプログラムも取り入れてリズム・メロディーを感じ、自分で曲や歌に合わせて表現していく力も身に付けます。保護者の方へ活動の説明をしたりお子様の伸びる姿を共に見守ることで「こんなことができるようになった」と我が子の成長を実感でき、「褒める事」も親子同時の参加だからこそタイミングを外さずできることであり、保護者の方から褒められたことがお子様の自信につながっていくところです。今年度から、月2回子育て中のお母さん同士の交流の場、「ふれあいサロン」を計画しています。いろいろな活動を通し「ゆったりできるママの時間」をお母さん同士で共有してもらえたらと思います。

このような新しい教室も踏まえながら、今後も『笑顔』で『来てよかった・楽しかった』のお声が聴けるように、保護者の方と共にお子様の成長を見守っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。





新規スタッフ紹介





支援課スタッフ 本山 弦樹

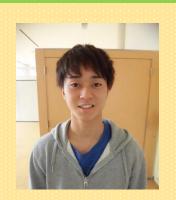


思いますが、精いっぱい頑張り迷惑をおかけする事もあるかと

ます。

分からない事ばかりで不安もあ

よろしくお願いします。



支援課スタッフ 永谷 瑞樹

思っています。よろしくお願い致します。間を、子どもたちと一緒に過ごしたいと広島から来ました。安心できる楽しい時ディオッサ出雲でサッカーをするために



療育スタッフ 伊藤 真衣子



心理スタッフ 岩橋 由佳

よろしくお願いします。で成長していきたいと思います。少しずつ慣れていき、いろいろな面



おりらせ

ハーモニーグリーン様より、ポケットティッシュを寄贈していただきました。大切に使わせていただきます。 ありがとうございました。







編集後記

新年度が始まり2ヶ月が経ちました。 子どもたちやスタッフも少しずつ新 しい環境に慣れてきました。毎日、暑 い日が続いていますので、体調には気 を付け、元気に過ごしたいと思いま す。1年間よろしくお願いします。

広報委員:嘉本、江角、定國

掲載しました氏名・写真につきましては、本人・家族に承諾を得ています。